

J-CAPP StudyII ニュースレター

J-CAPP Study IIにご協力いただきありがとうございます。

このニュースレターは J-CAPP Study II 参加者へ毎月末に送付させていただきます。毎月いろいろな病気のことなどについてご案内させていただく予定です。

ニュースレターが届いたら、送付内容をご確認下さい。内容をご確認の上、月初めに服用された試薬シート(PTP シート)と、該当する服用日誌を返信封筒に入れて研究事務局へお送り下さい。

【 送付内容 】

- ① ニュースレター・・・本紙
 - ② 来月分の服用日誌・・・来月に服用状況をご記入下さい。
 - ③ 返信用封筒・・・下記 2 点を同封して翌月にポストへ投函をお願いします。
- 服用日誌
 - 服用後の試薬シート(PTP シート)



※試薬シート(PTP シート)は、余りや服用しなかった日の薬もそのままにしてご返信下さい。

※大腸内視鏡検査や胃内視鏡検査などの内視鏡検査を行う場合や、抜歯など出血を伴う治療の際は、1週間前からアスピリンの服用を休止してください。

※試験薬が無くなった場合、お手数ですが、研究事務局まで御連絡下さい。

ニュースレターは今後もさまざまな情報提供に努めて参ります。試験薬の服用について何か気になる事がありましたら、下記、研究事務局もしくは主治医の先生へ連絡をお願いします。

連 絡 先

京都府立医科大学 分子標的癌予防医学 大阪研究室内

J-CAPP StudyII 研究事務局

特任教授 石川秀樹

事務担当 澤田奈央子

〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋 3-2-17 緒方ビル 2F

※研究事務局は 2017/5/22 より下記住所へ移転しました。

〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 3-1-14 高麗橋山本ビル 6F

TEL : 06-6202-5444 FAX : 06-6202-5445

E-mail : cancer@gol.com

※住所変更がございましたら事務局までご連絡をお願いします。

大腸がんになりやすい家系

血縁者に大腸がんになった人がいると、若干大腸がんになる可能性は高くなります。

これは、大腸がんに限らず、高血圧や糖尿病、肥満などでも見られる現象です。やはり親子ではいろいろな体質が似るのでですね。

特に、第1度近親（両親、兄弟姉妹、子供）のなかで、大腸がん、胃がん、子宮体がん、小腸がん、腎盂・尿管がんになった人が3人以上いて、その内1人以上が50歳までに発症している場合、その家系の人はいくつかのガンになりやすい体質を持っている可能性がとても高くなります。このような体質はリンチ症候群(HNPCC：遺伝性非ポリポーシス大腸がん)とよばれ、最近、急速に研究が進み、原因なども判明しつつあります。

もしも、あなたのご家族がこのような条件に合致する場合には、家族性腫瘍遺伝相談外来に受診すれば、いろいろな情報を知ることができます。



【 家族性腫瘍遺伝相談外来のある施設 】

- ・ 星総合病院（福島県郡山市）
- ・ 栃木県立がんセンター
- ・ 国立がんセンター中央病院
- ・ 慶應義塾大学医学部附属病院
- ・ 京都大学医学部附属病院
- ・ 国立岩国医療センター
- ・ 四国がんセンター など